

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 23 号

目次

- | | | |
|---|---------------|--------|
| 1. 巻頭言 | 支部長 岩井 千秋 | |
| pp.1-2 | | |
| 2. 2019 年度春季支部研究大会報告 | 大会実行委員長 田淵 博文 | p.3 |
| 3. 2019 年度支部第 1 回役員会報告 | 事務局幹事 岩中 貴裕 | p.4 |
| 4. 2019 年度支部研究会 第 11 回 OPP イベントについて | OPP 代表 三熊 祥文 | pp.4-5 |
| 5. 2019 年度秋季研究大会発表応募要領 | | p.5 |
| 6. 2019 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』第 17 号投稿募集 | | p.6 |
| 7. 事務局だより | | pp.6-7 |
| 編集後記 | | p.8 |
| 【重要】ニューズレター (NL) 配信についてお願い | | p.9 |

1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩井 千秋

皆様、こんにちは。お変わりございませんか。昨年この頃は中国・四国地方が豪雨に襲われ、いたましい被害に胸を痛くしました。今年はこうした災害が繰り返されないことを願うばかりです。このニューズレターが皆様のお手元に届くのは、前期期

末テスト、あるいは第 2 クォーター期末テストの頃かと思います。このクォーター制のように、最近は学校を巡る制度改革が目白押しです。その最たるものが大学入試制度。そこで、今回はこの入試制度を巡る話題から入ってみます。

大学入試で今もっともホットな話題と言えば、英語外部試験の導入でしょう。平成30年春の支部大会では、民間の教育情報機関から講師にお出でいただき、新しい英語入試に向けた高校、大学の対応状況についてお話いただきました。あれから1年、外部試験の使用については今もゴタゴタ続きです。6月中旬には京都工芸繊維大の羽藤由美先生たちが、外部試験使用中止の請願書を国会に提出されました。さらに、7月2日には、TOEIC 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) が入試への参入取り止めを発表。これは衝撃的でしたね。その理由が、入試事務のプロセスが複雑すぎること。TOEIC® がそうだったら、日本の教育現場と縁の薄い他の民間テストは大丈夫なの？と突っ込みを入れたくなります。

この状況に振り回され、何より可哀そうなのが受験生。そして対策に翻弄される高校の先生方、入試業務担当の大学教員、多くの事務職員などなど。それでもって新学習指導要領のキャッチフレーズが「主体的・対話的で深い学び」とは、失笑してしまいます。上意下達、専門家の意見が十分に反映されたとは思えない教育行政のどこが主体的・対話的なのか、またこんなことで、先生はどうやって胸をはって生徒や学生に主体的・対話的な教育活動をすればいいのやら。

トップダウン的な教育改革と言えば、2009年告知の高等学校指導要領で脚光を浴びた「英語の授業は英語で」のフレーズを想起します。個人的なことで恐縮ですが、昨年度までの5年間、科研の助成を受けてプロジェクトチームを組み、これについて調査しました。結果は、見事なほど現場にも学習者にもさほどの影響は与えなかった、ということでした。予想どおりと言えばそうなのですが、そもそも誰かれなく、英語をすべて英語で教えるメリットは何なのか、提唱者には根拠を添えて、納得のいく説明をしてほしいものです。

いずれの改革も源流は約20年前の「英語が使える日本人」育成の行動計画にあるように思われますが、これで本当にその目標

が達成できるのかどうか。ついでに言えば、こんなことをしているうちに、AIに英語教育が足元をすくわれてしまわないか？

巻頭言らしからぬ品のない話になってしまいましたが、折しもそんな心配をしていた頃に今年の春の支部大会があり、豊田昌倫先生に「英語の音を読む」と題してご講演いただきました(詳しい報告は次頁)。音が織りなす英語世界の不思議さと奥の深さを90分間たっぷり拝聴しました。入試対策や目先のコミュニケーション目的とは違う、知的好奇心をそそる授業とはこういうことを言うのだろうと強く感じた次第です。こんな味わいのある授業を、英語だけでできるのかどうか、ましてや外部試験で高得点を挙げるような学習で本当に英語、ひいては外国語を勉強する面白さや動機付けに繋がるのかどうか、老婆心ながら、不安を禁じえません。

話は尽きませんが、最後に、支部からの報告が3つあります。まず今年度の春季支部大会ですが、就実大学の田淵博文先生とダンテ・ローレンス先生、そして岡山大学の小山尚史先生にお世話いただき、就実大学で開催されました。先生方に心からお礼申し上げます。発表数も11件と多く、直前になって3教室に増やされました。次は10月19日(土)開催の秋季大会について。開催校である愛媛大学の折本素先生を中心に、池野修先生、中山晃先生にも加わっていただき、すでに準備を始めてもらっています。先生方、どうぞよろしくお願ひします。3つ目は、2021年の第60回JACET年次国際大会についての重要なお知らせです。同大会は私たちの支部の持ち回りとなっています。支部役員会で時間をかけて開催地を検討してきた結果、2007年の第46回大会に続き、安田女子大学が候補地として上がり、6月開催の理事会で承認されました。同大学の松岡博信先生、平本哲嗣先生、山川健一先生には今後何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは秋の支部大会でも、多くの皆様にお目にかかれることを願っています。

(広島市立大学)

2. 2019 年度春季研究大会報告

大会実行委員長 田淵 博文

岡山県の就実大学において、令和元年 6 月 1 日に中国・四国支部の春季研究大会を行った。大会参加人数は JACET 会員が 33 名、会員以外の方が 7 名で、計 40 名であった。研究発表者は 11 名に達し、3 室に分けて発表していただいた。発表内容は多岐に亘り、発表者の熱意がじかに伝わり、会場の雰囲気も相当に盛り上がっていた。英語教育の指導法に関する有益なヒントが盛り込まれた発表であったことを裏付けるかのように、発表のあとも質問が多数なされていた。語彙指導、文法指導、作文指導、初年次教育など、いかに教師は学習者に教えるかという根本的な課題について、原点に立ち返る必要があるということを感じたことと思います。

研究発表のあと、30 分間の休憩を挟み、京都大学名誉教授・関西外国語大学名誉教授である豊田昌倫先生に「英語の音を読む」という題で、90 分間講演をしていただいた。資料は 3 枚で、「音を読む」とは、ただ単に意味（メッセージ）をとるのではなく、音声的（詩的）mode に浸ることであると説明され、具体的に警告文（ロンドンの地下鉄、地下鉄の切符、英国及び EU の喫煙の警告文）から、音声のスタイル (/d/、/t/、/k/ などの破裂音の頭韻や脚韻や /k/ の冷たい響き）などについて詳しく説明していただいた。それから、著名な作家 (Agatha Christie、Emily Bronte、Henry Fielding、Virginia Woolf) や詩人 (Christina Rossetti、Robert Browning、Thomas Gray、Samuel Taylor Coleridge) の作品から抜粋した資料に関して、会場の先生方から音声的特長について意見を述べてもらい、そのあと解説を加えられた。英語の音素の「硬度」軸や「隠れた頭韻」などについて詳し

く丁寧に教えていただいた。音を紡ぎ出していく作家の苦労の一端が垣間見えた気がした。

豊田先生は学会で研究発表や講演をすることは、「自分が学ぶことである」と述べておられた。予定の時間を 20 分間も過ぎていたが、会場から質問が続いていて、司会者としてこの熱気をここで終えることが残念に思われました。Phonostylistic analysis について、感銘を受けた先生方が多数おられたことに大会の世話係として安堵しております。

豊田先生を囲む懇親会には 19 名が参加し、和やかな雰囲気の中かで歓談することができました。岩井先生、高橋先生を始め多くの先生方に感謝いたします。

秋季支部研究大会は 10 月 19 日に、愛媛大学で開催されます。大会が成功裏に終わり研究者が参加して良かったと思える大会になることを祈願しております。

(就実大学)

3. 2019 年度 JACET 中国・四国支部

第 1 回役員会報告

事務局幹事 岩中 貴裕

2019 年 6 月 1 日（土）に 2019 年度第 1 回支部役員会が開催され、2018 年度事業報告、2019 年度事業計画（案）、予算（案）および人事（案）について話し合いが行われました。2019 年度（後期）および 2020 年度事業計画について、お知らせいたします。

1) 2019 年度秋季研究大会
日程：2019 年 10 月 19 日（土）
場所：愛媛大学
（愛媛県松山市文京町 3 番）

2) 2019 年度 Oral Presentation & Performance (OPP) Event
日程：2019 年 12 月 15 日（日）
場所：未定

3) 2020 年度春季研究大会
日程：2020 年 6 月 6 日（土）予定
場所：香川大学（香川県高松市）

4) 2020 年度秋季研究大会
日程：2020 年 10 月 17 日（土）予定
場所：山口学芸大学（山口県山口市）

5) 2020 年 Oral Presentation & Performance (OPP) Event
日程：12 月中旬
場所：未定

6) 支部紀要・支部ニューズレター
・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』（第 17 号）
発行：2020 年 3 月 31 日（予定）
・支部ニューズレター
発行：2019 年 7 月 30 日（第 23 号）
2020 年 1 月 10 日（第 24 号）

4. 2019 年度支部研究会 OPP イベントについて

OPP 代表 三熊 祥文

昨年の豪雨災害を彷彿とさせる降雨が九州をはじめ各地を襲い、穏やかならざる思いが交錯しております。思えば、昨年は OPP の代表として、九州支部でシンポジストを務めるはずだったのがこの災害によってキャンセルとなったことが思い出されます。そんな季節も祭りの準備開始と重なる学年暦となります。OPP 研究会では今年も Oral Presentation & Performance (OPP)を開催し、英語コミュニケーション能力の向上に情熱を燃やす学生を支援いたします。

教室での英語学習が、英語教育研究による示唆や提案のインフレ？

によりますます窮屈になっていく中、長い歴史の中で学習現場において編み出された「発表会」というステージ提供の意義は語りつくせません。考えてみれば学校制度における最も基本的な出発点である幼稚園で

募集期間	8 月 31 日(土)まで。
開催日時	2019 年 12 月 15 日(日) 10 時 ~ 17 時頃まで
開催場所	未定

は、お遊戯や作品展示などのイベントで教育がスタートします。園児たちは例えば七夕祭りでのお歌とお遊戯の練習をすることが園生活の中心であったりするのです。その学習パッケージは年長者であっても有効です。

昨年の九州は流れましたが、今年は中部支部において発表の機会をいただき、他支部にも徐々に私たちの取り組みに興味を示してくださる方々が見られるようになりました。お話をさせていただいた結果、ご興味を示され、中部支部からご来訪を賜ることもありそうです。感慨深い思いです。

OPP では会員の皆様のご参加をお待ちしております。会場は現段階で未定となっております。

おりますが、8月末まで申し込みを受け付けますので、奮ってご応募ください。

募集条件

1. JACET 支部会員であればどなたでもエントリー可。
2. 先生方が指導されている学生さんによるプレゼン。
 - ・各大学の発表時間は最長 20 分まで
 - ・テーマ、発表形式は自由
 - ・先生の発表ご参加も歓迎
3. 受付は先着順で、8 校程度まで。
4. 申込みはメールにて代表者へ。
y.mikuma.ir@cc.it-hiroshima-ac.jp

(広島工業大学)

5. 2019 年度秋季研究大会発表募集要領

2019 年 10 月 19 日 (土) に 2019 年度秋季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部秋季研究大会

日時：2019 年 10 月 19 日 (土)

場所：愛媛大学

(愛媛県松山市文京町 3 番)

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

- (a) 発表題目 (Title)：日本語と英語
- (b) 種別 (Style)：自由研究発表、実践報告、事例研究など
- (c) 氏名 (Name)
- (d) 研究領域 (Research area)
- (e) 概要 (Abstract)：目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など。日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。
- (f) 所属 (Affiliation)
- (g) 使用機器 (Equipment needed)

(h) 連絡先 (Contact address)：メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2019 年 9 月 30 日 (月)

午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください。

研究発表及び参加申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S23969810/>

(7 月 30 日～9 月 30 日まで申込み可能)

懇親会申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S89320738/>

(10 月 1 日～12 日まで申込み可能)

C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員 ML、および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先

事務局幹事 岩中 貴裕

iwanaka@y-gakugei.ac.jp

6. 2019年度『JACET中国・四国支部研究紀要』第17号

投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし、委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会または支部大会で発表された研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として以下のとおりです。

- 論文投稿申込締切り：9月末
- 論文の投稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

投稿先：支部HP フォームズから
論文投稿申込先

<https://ws.formzu.net/fgen/S29162829/>

論文の投稿先

<https://ws.formzu.net/fgen/S44162902/>

お問い合わせ：紀要編集委員長
岩井千秋(広島市立大学)

E-mail: iwai@hiroshima-cu.ac.jp

7. ～事務局だより～

2019年1月から2019年7月までの新入会員8名をご紹介します。

皆様、どうぞよろしく願いいたします。

★新入会員紹介★

佐藤龍一 (Arizona State University)

中山文 (近畿大学)

森元亜紀子 (岡山情報ビジネス学院)

市崎一章 (松山大学)

Prichard, Caleb (岡山大学)

Gonzalez, Cynthia (愛媛大学)

Chambers, Arran (香川大学)

榎田一路 (広島大学)

(敬称略)

2019年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしく願いいたします。

三宅美鈴 (広島国際大学)
山川健一 (安田女子大学)
山中英理子 (広島国際大学)

★支部人事★

【支部役員】

支部長 岩井千秋 (広島市立大学)
副支部長 高橋俊章 (山口大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)
*岩中貴裕 (山口学芸大学)
山中英理子 (広島国際大学)
支部会計担当者
堀部秀雄 (広島工業大学)

支部研究企画委員 (26名)

五百蔵高浩 (高知県立大学)
池野 修 (愛媛大学)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
上西幸治 (広島大学)
榎田一路 (広島大学)
折本 素 (愛媛大学)
小崎順子 (川崎医療福祉大学)
小山尚史 (岡山大学)
関谷弘毅 (広島女学院大学)
高垣俊之 (尾道市立大学)
高橋俊章 (山口大学)
瀧由紀子 (松山大学)
田辺尚子 (福山平成大学)
田淵博文 (就実大学)
ダンテ・ローレンス (就実大学)
寺嶋健史 (松山大学)
中住幸治 (香川大学)
中山 晃 (愛媛大学)
二五義博 (海上保安大学校)
平本哲嗣 (安田女子大学)
堀部秀雄 (広島工業大学)
松岡博信 (安田女子大学)
三熊祥文 (広島工業大学)

【本部委員】

理事 岩井千秋 (広島市立大学)
総務委員会 (支部事務局幹事)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
財務委員会 (支部会計担当者)
堀部秀雄 (広島工業大学)
国際大会組織委員会本部
山川健一 (安田女子大学)

『JACET 通信』委員会

松岡博信 (安田女子大学)
学術出版委員会紀要担当
平本哲嗣 (安田女子大学)
学術出版委員会 Selected Papers 担当
平本哲嗣 (安田女子大学)
セミナー事業委員会
田淵博文 (就実大学)
研究促進委員会
岩井千秋 (広島市立大学)
学術交流委員会
堀部秀雄 (広島工業大学)
大学英語教育学会賞運営委員会
池野修 (愛媛大学)
第60回記念国際大会準備特別委員
岩井千秋 (広島市立大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

- 『支部紀要』第17号
2020年3月31日刊行 (予定)
- 『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』
2019年7月30日 (第23号) 発行
2020年1月10日 (第24号) 発行 (予定)

【編集後記】

海山の恋しい季節を迎えました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年の春季研究大会は、6月1日（土）に就実大学で開催されました。中国・四国支部ならではのアットホームな雰囲気の中、11件の研究発表が行われました。

研究発表後は、京都大学名誉教授・関西外国語大学名誉教授の豊田昌倫先生を講師にお招きして「英語の音を読む」というタイトルでご講演をいただきました。豊田先生の鋭い英語分析力に基づいてのご講演は、英語教育に携わる我々にとってとても刺激のかつ有意義なものでした。会場でお世話いただいた先生がたには、心より感謝申し

上げます。

秋季研究大会は愛媛大学にて開催されます。10月19日（土）に会員の皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

炎暑しのぎがたい日が続いております。ご自愛専一に。

(T. I.)



【重要】 JACET(大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩井 千秋(広島市立大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

1. 支部 HP (<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ (<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。
3. ウェブの入力フォームに右上の【入力情報】を入力する。

【入力情報】

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

- すでに登録している
希望する
希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の岩中までお問い合わせください。

アドレス : iwanaka@y-gakugei.ac.jp

メールアドレスを変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第 23 号

2019 年 7 月 30 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部 支部代表 岩井 千秋

編集 : JACET 中国・四国支部 事務局幹事 岩中 貴裕

発行所 : 〒754-0032 山口県山口市小郡みらい町 1 丁目 7 番 1 号 山口学芸大学 教育学部
岩中 貴裕

連絡先 : Tel:083-972-3288 FAX: 083-972-4145 E-mail: iwanaka@y-gakugei.ac.jp